

若年性認知症居場所(仕事の場)づくり支援事業

法人・事業所名 : 社会福祉法人天竜厚生会 救護施設清風寮 通所事業所

○事業概要

利用者の状況(人数・状況等の推移)

- ・認知症の人利用人数 2人(うち若年性認知症の人 1人)
- ・認知症の人延べ人数 2人(うち若年性認知症の人 1人)
- ・延べ開催日数 76日(うち若年性認知症参加した日数 76日)
- ・認知症の人への工賃(謝金) 合計 25,432円

開催日時・実施場所

- ・部品組立 計76日 1日あたり3時間から4時間 当事業所内作業室

職員体制

- ・部品組立(職員1名で対応) 本人は作業を実施。職員は見守り及び最終確認、または最終確認のみ

仕事の確保方法

当法人管轄の通所事業所に協力を依頼した。事業所本来の目的である利用条件を満たしていないが、特別枠として利用許可をもらった。

○仕事の内容

- ・部品組立
自動車および農機具等の部品の組み立て作業を行う。数種類の作業がある為、本人の希望、能力に合わせて相談して実施する。
作業報酬は組立個数1個につき、～円という単価設定になっているので、組立個数×単価設定金額=賃金となる。賃金は翌月末に手渡しで渡す。
- ※以下は参加者が主に行っていた作業
- ・バイクのブレーキレバーの組み立て 5工程程度 単価8円
(工程が多い為、作業を分割していた。分割した場合は単価4円)
- ・農機具スイッチ組立 3工程 単価2,5円
- ・耕運機微動スイッチ組立 3工程 単価3円
- ・耕運機操作スイッチ組立 2工程 単価1.5円

○成果や課題

- 成果
 - ・部品の組み立ては、繰り返し行うことで職員の最終チェックのみで作業ができるようになった。
 - ・「本人」と「社会」をつなぐ中間的な支援施設としての機能や、本人が社会的な居場所を再構築する為の訓練所のような機能が期待できる。
- 課題
 - ・細かい作業(ピンセットを使うもの等)はできるようになっても時間が掛かる。
 - ・参加者を集めることが難しい。(対象の発掘が困難)
 - ・送迎できないと参加自体が厳しい。
 - ・報酬額の低さ、参加者の理解が必要不可欠。

○若年性認知症の人に向いていると思われる作業内容

- ・不規則な工程ではなく、ルーティン化している作業が良い
- ・1人で行うものよりも、複数人で一つの作業ができるものが良い(お互いがチェックできるものとミスが減る)